



世界基準のモノづくり
プレス技術の進化がここに。

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展

2013年4月17日(水)~20日(土)

2013

東京ビッグサイト

主催：一般社団法人日本金属プレス工業協会 運営：インターモールド振興会

<http://intermold.jp/>

出展の
ご案内

開催概要

名称 金属プレス加工技術展2013
会期 2013年4月17日(水)～20日(土)
開場時間 10:00～17:00
会場 東京ビッグサイト(〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1)
主催 一般社団法人日本金属プレス工業協会
運営 インターモールド振興会
公式サイト <http://intermold.jp/>

前回大阪来場者数 45,075人(金属プレス加工技術展/INTERMOLD/金型展の合計)
予想来場者数 50,000人(INTERMOLD2013/金型展2013を含む)
入場料 1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)
併催企画 「基調講演」「特別講演会」
「出展者によるプレゼンテーションセミナー」ほか
併催展 INTERMOLD 2013/金型展2013

協賛 一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般財団法人素形材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、日本金属熱処理工業会、社団法人日本鋳造協会、一般社団法人日本鍛造協会、社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、RP産業協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団(順不同/申請予定)

出展規程

■出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	336,000円(税込) 320,000円(出展料金)+ 16,000円(消費税)	409,500円(税込) 390,000円(出展料金)+ 19,500円(消費税)
会員	315,000円(税込) 300,000円(出展料金)+ 15,000円(消費税) 一般社団法人日本金属プレス工業協会正会員のみ適用	388,500円(税込) 370,000円(出展料金)+ 18,500円(消費税)

■小間形態

小間の大きさ：間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9m)
 形態：単列または複列を選択(※複列は4小間以上の出展に限りです)

■小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。

[Bタイプ設備内容](1小間あたり)

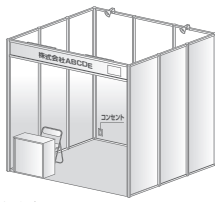
- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、バラベント
- カーペット ●社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台) ●パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯) ●蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※電気使用料金は別途出展者の負担となります。

<参考 前回電気使用料 1kwあたり2,100円(税込)>

※受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。



(Bタイプ参考例)

■申込方法

- 1 出展申込書に必要な事項をご記入・ご捺印の上、下記提出先に郵送、またはFAXでお申し込みください。なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず郵送してください。
- 2 出展申込書裏面に主な出展規程を記載しておりますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。
- 3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

■申込書提出先

※郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15(株式会社アイ・ティ・ピー内※)
 TEL:06-6944-9911 FAX:06-6944-9912

申込締切日

2012年11月30日(金)

※但し、満小間になり次第締切ります。

支払期日

2012年12月25日(火)

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込みください。

※株式会社アイ・ティ・ピーは2012年10月1日より株式会社テレビ大阪エクスプロに社名変更します。

主要スケジュール(予定)



※上記開催概要・スケジュールは2012年7月時点の予定であり、都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

世界基準のモノづくり

金型開発・設計～金型製造～プレス加工の一貫したソリューションを提案。

従来の「ものづくり」の概念・常識を超える最先端のプレス加工技術を集約

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION
金属プレス加工技術展
日本のものづくりの競争力・商品力を高める量産技術



出展対象

プレス加工機

サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、ファインプランキングプレス、深絞りプレス、粉末成型プレス、冷・温・熱間鍛造プレスなど

各種金属プレス成形サンプル

周辺機器

トランスファースystem、アンコイラ・レベラー・ループ・フィーダーなど材料供給装置、ロボット・自動化システム、安全装置、その他関連機器

プレス金型・プレス金型部品

プレス加工事業者による技術PR

特別講演会・技術セミナーの開催 主催：一般社団法人日本金属プレス工業協会

■金属プレス加工メーカー向けセミナーを開催

一般社団法人日本金属プレス工業協会の主催によるセミナーを開講します。

金属プレス業界における最新トピックを取り上げることで、新技術に関心の高い来場者（ユーザー）の集客を見込みます。特別講演会では業界著名人を講師に招き、大手メーカーやユーザーの最新技術や業界動向などを発表していただきます。また、技術セミナーでは、金属プレス事業者・プレスユーザーとプレス加工機メーカーとのコラボレーションにより具体的な技術・設備の導入事例を交えたセミナーを行います。これらの参加者を展示会場に誘導することにより、出展者にとって意義の高いビジネスマッチング空間を創出します。

出展者によるプレゼンテーションセミナー

出展者の展示効果をより一層高めるために、「出展者による新技術の発表」「製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できる「セミナースペース」（有料）を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込書のセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、別途詳細を事務局よりご案内致します。



2012年大阪 開催実績

開催概要 ※下記概要データは3展を合計

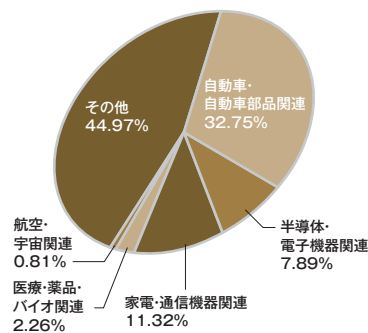
名称 金属プレス加工技術展2012
併催展 INTERMOLD 2012(第23回 金型加工技術展)
 金型展2012
会期 2012年4月18日(水)~21日(土) 10:00~17:00
会場 インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)
出展規模 306社・団体 801小間
来場者数 45,075人

来場者数

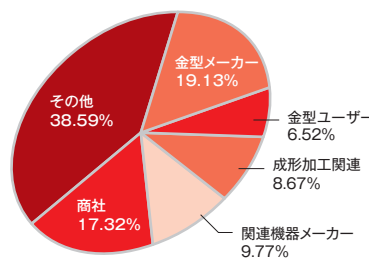
	金属プレス加工技術展	INTERMOLD	金型展	合計
4月18日(水) (晴れ)	1,077人	4,931人	1,027人	7,035人
4月19日(木) (晴れ)	1,200人	7,022人	1,309人	9,531人
4月20日(金) (雨)	1,401人	8,777人	1,643人	11,821人
4月21日(土) (晴れ)	1,569人	12,321人	2,798人	16,688人
合計	5,247人	33,051人	6,777人	45,075人

来場者業種分類 ※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

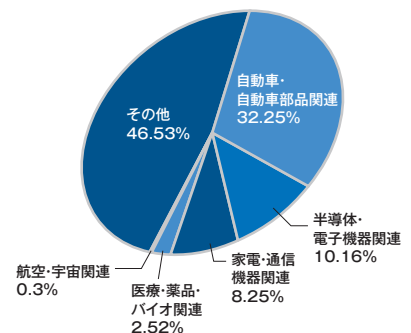
金属プレス加工技術展



INTERMOLD



金型展



来場者の地域分類 ※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

	北海道地区	東北地区	関東地区	中部地区	北陸地区	近畿地区	中国・四国地区	九州・沖縄地区	海外	地区不明
金属プレス加工技術展	0.14%	0.32%	6.41%	15.79%	1.22%	69.99% うち大阪府内 46.21%	3.66%	0.85%	1.62%	0.00%
INTERMOLD	0.08%	0.65%	6.93%	14.81%	2.91%	62.51% うち大阪府内 36.91%	6.45%	2.08%	3.55%	0.03%
金型展	0.04%	0.61%	5.56%	16.55%	3.34%	64.90% うち大阪府内 44.27%	5.04%	2.56%	1.39%	0.01%

基調講演

「ダイハツ工業が描く次世代のものづくり」
 ダイハツ工業株式会社 相談役・技監 白水 宏典氏

特別講演会

「話題のプレス最新技術」
 主催:一般社団法人日本金属プレス工業協会
 コーディネーター:東京大学名誉教授 工学博士 中川 威雄氏

講演1 「トヨタにおけるサーボプレスの有効性」
 トヨタ自動車株式会社 プレス生技部 部長 中村 真一郎氏

講演2 「電気自動車の技術動向と産業へのインパクト」
 カルソニックカンセイ株式会社 グローバルテクノロジー本部 テクノロジオフィサ
 日産自動車株式会社 EV パワートレイン開発本部 技術顧問 廣田 幸嗣氏

講演3 「同時多段成形技術「提灯成形」による自工程完結ライン造り」
 小島プレス工業株式会社 専務取締役 小川 正則氏

講演4 「第11回オートエキスポに見るインド自動車産業の変化」
 東京大学 大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特任研究員 伊藤 洋氏

講演5 「電子機器の金属筐体製造が金属プレスから切削加工へ?」
 東京大学 名誉教授 工学博士 中川 威雄氏

技術セミナー

「サーボプレスと新しい成形技術」
 総司会:小松技術士事務所 所長 小松 勇氏

講演1 「精密から超精密へ 板鍛造高精度化への取組み」
 株式会社サイベックコーポレーション 代表取締役社長 平林 巧造氏

講演2 「4軸直動式サーボプレス ZENFomer の特徴と高自由度成形技術の紹介」
 株式会社放電精密加工研究所 開発事業部 次長 村田 力氏

講演3 「型構造シミュレーションを取り入れた設計フローの提案」
 株式会社計算力学研究センター 研究開発部 マイスター 白滝 之博氏

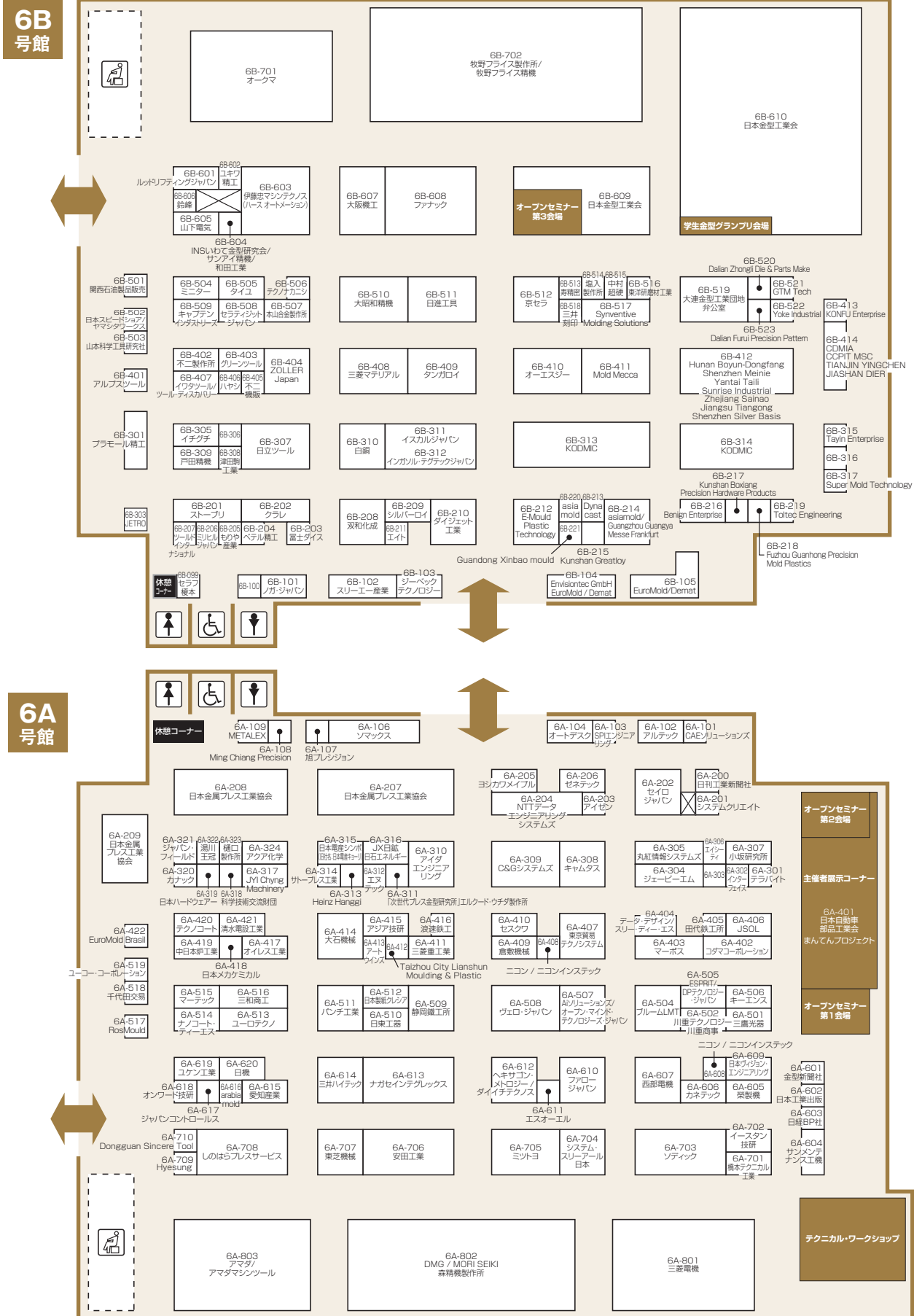
講演4 「鍛造加工に適したサーボプレスの特性」
 小松技術士事務所 所長 小松 勇氏

パネルディスカッション
 「力強い日本のプレス加工技術に向けて」



金属プレス加工技術展 2012
INTERMOLD 2012 金型展 2012

インテックス大阪



2012年(大阪) 出展社一覧

国内出展社

金属プレス加工技術展

アイデンジエン지니어リング株式会社、株式会社アートウインズ、アクア化学株式会社、アジア技研株式会社、株式会社エヌテック、大石機械株式会社、サトープレス工業株式会社、「次世代プレス金型研究所」、株式会社エルグード/ウチダ製作所、しのはらプレスサービス株式会社、JX日鉱日石エネルギー株式会社、ジャパンコントロールズ株式会社、ジャパン・フィード株式会社、一般社団法人日本金属プレス工業協会、飯田金属工業株式会社、株式会社エスケイ、株式会社大貫工業所、株式会社橋田生産工業所、株式会社阪口製作所、株式会社三光製作所、新世代加工システム株式会社、株式会社セワ、株式会社ソーデナカノ、株式会社大喜金属製作所、タイメック株式会社、株式会社ニッコー、ヒルタ工業株式会社、不二精工株式会社、株式会社富士プレス、株式会社平安製作所、株式会社丸武部品、ミヤマ精工株式会社、株式会社山岡製作所、日本電産シンボ株式会社、日本ハードウェア株式会社、日本メカケミカル株式会社、株式会社樋口製作所、湯川川冠株式会社

INTERMOLD

INS いわて金型研究会、株式会社アイゼン、愛知産業株式会社、株式会社旭プレジジョン、株式会社アマダ、株式会社アマダマシンツール、アルテック株式会社、株式会社アルプスツール、イースタン技研株式会社、イースカルジャパン株式会社、株式会社イチグチ、伊藤忠シンテクノ株式会社、株式会社イワタツール、インガノル・テグテック ジャパン株式会社、株式会社インターフェイス、ヴェロ・ジャパン株式会社、株式会社エージーイー、株式会社Aiソリューションズ、エスオーエル株式会社、株式会社SPI エンジニアリング、ESPRINT / DP テクノロジー、ジャパン株式会社、株式会社NTT データエンジニアリングシステムズ、オイス工業株式会社、オーエスジ株式会社、オークマ株式会社、大阪機工株式会社、オートデスク株式会社、オープン・マインド・テクノロジー・ジャパン株式会社、株式会社オンワード技研、公益財団法人科学技術交流財団、株式会社金型新聞社、株式会社カナク、カネテック株式会社、川重テクノロジー株式会社/川重商事株式会社、株式会社関西石油製品販売、株式会社キーエンス、株式会社キャプテンインダストリーズ、キャムタス株式会社、京セラ株式会社、倉敷機械株式会社、グリーンツール株式会社、株式会社小坂研究所、コタマコーポレーション株式会社、製機株式会社、株式会社サンアイ精機、有限会社サンメンテナス工機、三和商工株式会社、株式会社C&Gシステムズ、株式会社CAEソリューションズ、株式会社ジーベックテクノロジー、株式会社JSOL、株式会社ジービーエム、株式会社静岡同業、株式会社システムクリエイト、システム・スリーアル日本株式会社、清水電設工業株式会社、株式会社シルバーロイ、ストープリ株式会社、株式会社スリーエー産業、株式会社スリーディーエム、西部電機株式会社、株式会社セイロジャパン、株式会社セスク、株式会社ゼネテック、有限会社セラテジント ジャパン、双和化成株式会社、株式会社ソディック、ソマックス株式会社、株式会社ダイイチテクノス、ダイゼット工業株式会社、大昭和精機株式会社、タイコ株式会社、株式会社田代鉄工、株式会社タンガロイ、千代田交易株式会社、有限会社ツール・ディスカバリー、ツールインターナショナル株式会社、ZOLLER Japan 株式会社、津田駒工業株式会社、株式会社データ・デザイン、DMG / MORI SEIKI、テクノコート株式会社、株式会社テクノカニシ、株式会社テラバイト、東京貿易テクノシステム株式会社、株式会社戸田精機、株式会社ナガセインテグレーション、中日本工業株式会社、浪速鉄工株式会社、ナノコート・ティエス株式会社、日刊工業新聞社、日機株式会社、日経BP社、株式会社ニコン、株式会社ニコンシステム、日進工具株式会社、日東工業株式会社、日本フジオン・エンジニアリング株式会社、日本製紙クレシア株式会社、一般社団法人日本自動車部品工業会、日本工業出版株式会社、日本スピードショア株式会社、ノガ・ジャパン株式会社、白銅株式会社、株式会社橋本テックカル工業、株式会社ハヤシ、パンチ工業株式会社、日立ツール株式会社、フナツク株式会社、フアロー・ジャパン株式会社、株式会社不二機販、株式会社不二製作所、富士ダイス株式会社、株式会社プラモール精工、株式会社ブルームLMT、ヘキサコン・テクノロジー株式会社、マーテック株式会社、株式会社牧野フライス製作所、牧野フライス精機株式会社、マーボス株式会社、丸紅情報システム株式会社、まんでんプロジェクト、三鷹光器株式会社、有限会社三井印刷、株式会社三井ハイテック、株式会社ミツトヨ、三菱重工株式会社、三菱電機株式会社、三菱マテリアル株式会社、ミナター株式会社、ミルヒルジャパン株式会社、株式会社本山合金製作所、株式会社森精機製作所、安田工業株式会社、山下電気株式会社、株式会社山本科学工具研究所、株式会社ユーコー・コーポレーション、株式会社ユーロテクノ、ユキワ精工株式会社、ユケン工業株式会社、ヨシカワメイト株式会社、株式会社レトリフティングジャパン、有限会社鈴峰、和田工業株式会社

金型展

株式会社クラレ、株式会社寿精密、株式会社塩入製作所、株式会社セラバ履本、東洋研磨材工業株式会社、株式会社中村超硬、社団法人日本金型工業会、【明石プラスチック工業株式会社、池上金型工業株式会社、株式会社伊藤製作所、魚岸精機工業株式会社、株式会社内山精工、大垣精工株式会社、櫻山金型工業株式会社、キャノンモールド株式会社、黒田精工株式会社、株式会社サイベックコーポレーション、株式会社三瑠フラインツール、株式会社社狸々テック、株式会社新日本テック、株式会社鈴木、株式会社セントラルフラインツール、株式会社タカノ、株式会社田中金型製作所、タミー株式会社、株式会社寺方工作所、株式会社社長津製作所、株式会社名古屋精密金型、野田金型有限会社、株式会社橋本テック工業、株式会社藤岡製作所、株式会社フジタ、ベントム工業株式会社、株式会社松野金型製作所、ミツエ・モールド・エンジニアリング株式会社、名神工業株式会社、山崎工業株式会社、株式会社ヤマナカコーキン、有限会社吉中精工、株式会社ベレル精工、もりや産業株式会社

海外出展社

金属プレス加工技術展

Dalian Furui Precision Pattern Co., Ltd., Dynacast (Singapore) Pte Ltd., GTM Tech, Heinz Hänggi GmbH, JYI Chyng Machinery Co., Ltd., Ming Chiang Precision Co., Ltd., Super Mold Technology Co., Ltd.

INTERMOLD

ARABIAMOLD, ASIAMOLD/Guangzhou Guangya Messe Frankfurt,amerimold,Benign Enterprise Co., Ltd.,BUKWANG TECHNOLOGY CO.,LTD.,Busan Gigong,China Council for the Promotion of International Trade, Machinery Sub Council, China Die & Mould Industry Association, Dalian Zhongli Die & Parts Make Co., Ltd., Daewon chong up , E-Mould Plastic Technology (Shenzhen) Ltd., Ehwa Precision Co.ltd., EUROMOLD /Demat GmbH ,EuroMold Brasil,Envisiontec GmbH,Fuzhou Guanhong Precision Mold Plastic Co., Ltd., Guangdong Xinbao Mould Company, HANDOK TECH, Hunan Boyun-Dongfang Powder Metallurgy Co., Ltd, Hyesung Co., Ltd.,HYUNG IL TECH CO.,I & Tech Co., Ltd., Insungnpla Co., Ltd., JHP Co., Ltd., Jjansu Tiangong Tools Co., Ltd., Jiashan Dier Electro-Mechanical Technology Co., Ltd., Jukwang Precision Co.,Ltd, Juyoung High Tech Co., Ltd., KISUNG HIGHEST. CO, KONFU Enterprise Co., Ltd., Korea Association for Die & Mold Industry Development (Mold Mecca), Korea Die & Mold Industry Cooperative, Korea Precision Co., Ltd., Kunshan Boxiang Precision Hardware Products Co., Ltd., Kunshan Greatloy Co., Ltd., LuBo Industries, Inc, METALEX, MODEL SOLUTION, One Tech Corp., RAYMOLD Co. Ltd., ROSMOULD, SGO CO.,LTD, Shenzhen Meinie tool & Die Co., Ltd ,Shenzhen Silver Basis Technology Co., Ltd.,SKE co., LTD ,Sunrise Industrial (Shenzhen) Ltd ,SW MOLDTTECH CO.,LTD.,Synventive Molding Solutions K.K., Taizhou City Lianshun Moulding & Plastic Co., Ltd., TaeKwang Techno Co.,Ltd , Tianjinshi Yingchen Precision Tooling & Mould Co., Ltd, Toltec Engineering Co., Ltd., WIDIN CO., LTD, WOJJOOMICRON, Yantai Taili Automobile Tooling Co., Ltd, Yoke Industrial Corp., 大連金型工業団地弁公室

金型展

Amigo Tooling Co., Ltd., Dongguan Sincere Tool Co., Ltd, Tayin Enterprise Co., Ltd., Zhejiang Saihao Industrial Co., Ltd

広報PR活動(予定)

広告掲載およびパブリシティの活用

- 日経産業新聞、日刊工業新聞、金型新聞など新聞広告を順次掲載
- 日経ものづくり、型技術、プレス技術など業界誌への広告掲載
- 金属プレス、金型、部品加工などの金属加工業界紙およびインターネットなど様々なメディアにパブリシティを掲載

招待状・展示会案内パンフレットを送付

来場実績者への来場動員に加えて、併催展INTERMOLDの過去23年間の豊富なデータを元に、業界関係者の動員を図ります。また、出展者には招待状・展示会案内パンフレットなどの来場動員ツールを無料で希望数提供いたします。

ポスターの掲示

後援・協賛団体および関連業界団体を中心にポスターを配布し、開催告知を積極的に展開することにより、プレス加工メーカー、金型メーカー、部品加工事業者など関係者の動員を図ります。

本展公式サイトとの相互リンク、製品検索画面への登録

本展公式サイトと相互リンクを張ることで出展者のホームページに効果的な誘導を行います。また、製品検索画面の設置により展示製品や加工品などをPRしていただくことが可能です。

事務局からの直接的来場促進

- 併催展も含めた開催告知、来場動員活動を積極的に展開。
- 来場実績者へのダイレクトメール(招待状・パンフレット)送付とメール配信。
- 自動車メーカー、サプライヤー、家電メーカー、情報通信機器メーカーなど、関連企業への電話による来場動員。招待状、パンフレット配布、ポスター掲出を依頼。
- 医療機器、医薬品、食料品メーカーなど、新たな重要ターゲット層として動員を強化。
- 航空機、宇宙産業分野の新企画を併催し、来場者層の拡充を図る。

公式サイト

ポスター

出展申込書

申込日： 年 月 日

インターモールド振興会殿

裏面記載の出展規程を遵守することを承諾し、下記の通り出展を申し込みます。

〈1〉出展申込者

会社名	フリガナ	代表者	フリガナ
	和文		(氏名)
	英文	(役職)	
本社所在地	〒	TEL	
		URL	http://

*本展示会ホームページにリンクするアドレスをご記入下さい。

〈2〉出展実務(連絡)担当者

住所	〒	フリガナ	TEL	
所属部課		フリガナ	FAX	
役職		氏名	E-mail	

〈3〉出展申込小間数および出展料金

	Aタイプ		Bタイプ		出展料金 (①×②)	支払予定期日
	小間単価①	申込小間数②	小間単価①	申込小間数②		
一般	336,000円(税込) <small>320,000円出展料金+16,000円消費税</small>	小間	409,500円(税込) <small>390,000円出展料金+19,500円消費税</small>	小間	¥	年 月 日
会員	315,000円(税込) <small>300,000円出展料金+15,000円消費税</small>	小間	388,500円(税込) <small>370,000円出展料金+18,500円消費税</small>	小間		
*会員価格は、(一社)日本金属プレス工業協会の正会員のみ適用されます。						(税込)
						支払期限 2012年12月25日(火) <厳守>

〈4〉小間形態の希望 *4小間以上の場合のみご記入下さい。

単列

 複列

〈5〉セミナー開講希望(有料) *別途正式なセミナー開講申込書をご提出いただけます。

出展者によるプレゼンテーションセミナーの開講を予定・検討している場合は
 開講を希望します
 V印をご記入下さい。

〈6〉主な出展物および製造業者名 *新規出展の場合は、会社案内と出展製品のカタログを必ず添付して下さい。

出展物	会社名	生産国名

〈7〉上記内容より主要製品ジャンルをご記入下さい。*会場レイアウトの参考とさせていただきます。

(例) プレス加工機、金型

〈8〉連絡欄 *共同出展者として社名掲載を希望される場合は、社名・英文社名・URLを記入して下さい。

事務局使用欄

受 付	請求内容	請求書No.	請求日	入金日	1	2	3
受付日	出展料金				4	5	6
受付番号					7	8	9

キリトリ線

主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。これに基づき、出展者は、2012年12月25日(火)までに出展料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込みのみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展契約の成立時期

出展申込書に基づく出展契約の成立時期は、申込日に拘わらず事務局が出展申込書を郵便又はFAXで受け取った時点とします。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- 出展申込締切日の翌日(2012年12月1日)以降、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2012年12月1日～2012年12月31日	出展料金の50%
2013年 1月1日～2013年 1月31日	出展料金の75%
2013年 2月1日以降	出展料金の100%

- 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出展料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
 - 2012年12月25日(火)までに出展料金を完納しない場合
 - 事前申告なしに搬入日の2013年4月16日12時までに小間の使用を開始しない場合
 - 出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、出展者説明会時に通知します。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾に関する規制と撤去・搬出

- 小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期日内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更に同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。
- 事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催の変更・中止

- 主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出展料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金します。
- 出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消することはできません。

11. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。